生物機能科学専攻後期

生命機能情報工学領域

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準履 修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AN007	生体成分化学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	臼井 健郎, 春原 由香里, 松山 茂, 古川 純, 繁森 英 幸, 山田 小須弥	生体成分化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN008	生体成分化学講究Ⅱ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	臼井 健郎, 春原 由香里, 松山 茂, 古川 純, 繁森 英 幸, 山田 小須弥	生体成分化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN009	生体成分化学講究III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	臼井 健郎, 春原 由香里, 松山 茂, 古川 純, 繁森 英 幸, 山田 小須弥	生体成分化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN010	ゲノム情報生物学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深水 昭吉, 谷本 啓司, 加香 孝一郎, 大徳 浩照, 石田 純治, 松崎 仁美	ゲノム情報生物学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN011	ゲノム情報生物学講究 II	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深水 昭吉, 谷本啓司, 加香孝一郎, 大徳 浩照, 石田 純治, 松崎 仁美	ゲノム情報生物学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN012	ゲノム情報生物学講究 III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深水 昭吉,谷本啓司,加香孝一郎,大徳 浩照,石田 純治,金 俊達,松崎 仁美	ゲノム情報生物学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN013	構造生物化学講究Ⅰ	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	田中 俊之, 南雲陽子	構造生物化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN014	構造生物化学講究Ⅱ	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	田中 俊之, 南雲陽子	構造生物化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN015	構造生物化学講究III	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	田中 俊之, 南雲陽子	構造生物化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN022	分子発生制御学講究[1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	柏原 真一, 兼森芳紀	分子発生制御学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原者論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN023	分子発生制御学講究II	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	柏原 真一, 兼森	分子発生制御学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN024	分子発生制御学講究III	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	柏原 真一, 兼森芳紀	分子発生制御学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN025	生体情報制御学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	木村 圭志	生体情報制御学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで

02AN026	生体情報制御学講究[[2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	木村 圭志	られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・ 討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作 成方法について具体的指導を行う。また、研究者	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN027	生体情報制御学講究III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	木村 圭志		その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN016	微生物育種工学講究Ⅰ	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小林 達彦, 橋本 義輝, 熊野 匠人	成方法について具体的指導を行う。また、研究者	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN017	微生物育種工学講究II	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小林 達彦, 橋本 義輝, 熊野 匠人	微生物育種工学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN018	微生物育種工学講究III	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小林 達彦, 橋本 義輝, 熊野 匠人	討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN031	動物リソース工学講究Ⅰ	7	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小倉 淳郎, 井上 貴美子		連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN032	動物リソース工学講究 II	7	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小倉 淳郎, 井上 貴美子	の作成方法について具体的指導を行う。また、研	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN033	動物リソース工学講究 III	7	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小倉 淳郎, 井上 貴美子	動物リソース工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 寮・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN034	植物環境ゲノム科学講 究 I	6	1.0	1 - 3	通年	応談		土生 芳樹	植物環境ゲノム科学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・計論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る 14条対応 その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN035	植物環境ゲノム科学講 究II	6	1.0	1 - 3	通年	応談		土生 芳樹	植物環境ゲノム科学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る 14条対応 14条対応 その他の実施形態 を表われるでは、ディスカッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN036	植物環境ゲノム科学講 究III	6	1.0	1 - 3	通年	応談		土生 芳樹	植物環境ゲノム科学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る 14条対応 その他の実施形態 概ね対面とが等は、必ず カッション等は、必ず に応じてオンラインで 実施する

生物機能利用工学領域

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準履 修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AN107	生物プロセス工学講究Ⅰ	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 名可男		に応じてオンラインで
02AN108	生物プロセス工学講究 II	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 名可男		に応じてオンラインで

02AN109	生物プロセス工学講究 III	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 名可男	生体プロセス工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 家・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN110	生物反応工学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	市川 創作, 横谷香織, 平川 秀彦	生体反応工学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN111	生物反応工学講究Ⅱ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	市川 創作, 横谷香織, 平川 秀彦	生体反応工学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN112	生物反応工学講究III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	市川 創作, 横谷香織, 平川 秀彦	生体反応工学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要
02AN113	微生物機能利用学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 暢彦,豊福 雅典,Utada Shinichi Andrew	微生物機能利用学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN114	微生物機能利用学講究 II	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 暢彦,豊福 雅典,Utada Shinichi Andrew	微生物機能利用学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN115	微生物機能利用学講究 III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	野村 暢彦,豊福 雅典,Utada Shinichi Andrew	微生物機能利用学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 寮・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN116	細胞機能開発工学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	青柳 秀紀	細胞機能開発工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN117	細胞機能開発工学講究 II	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	青柳 秀紀	細胞機能開発工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 寮・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN118	細胞機能開発工学講究 III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	青柳 秀紀	細胞機能開発工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原者論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	に応じてオンラインで
02AN119	生体模倣化学講究I	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小川 和義	生体模倣科学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指字を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN120	生体模倣化学講究II	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小川 和義	生体模倣科学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指論文を行う。また、研究の指に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN121	生体模倣化学講究III	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	小川 和義	生体模倣科学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究の進行必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN151	負荷適応微生物学講究Ⅰ	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	高谷 直樹, 中村 顕, 中島 (神戸) 敏 明, 竹下, 典男, 八, 標, 應 蓓野, 花 介, 土肥 裕希	負荷適応微生物学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	

02AN152	負荷適応微生物学講究 II	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	高谷 直樹,中村 顕,中声) 敏 明 竹下 典男,八 幡 藤生,河关 オ 介,土肥 裕希	の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN153	負荷適応微生物学講究 III	3	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	高谷 直樹,中村 顕中島(神戸) 敏明,竹下典男,八 幡 穣,應 蓓文,大 津 厳生,河野 祐 介,土肥 裕希	負荷適応微生物学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文 の作成方法について具体的指導を行う。また、研 究者に必須である研究倫理教育についても、研究 の進行に合わせ適宜行う。	
02AN131	食品機能化学講究Ⅰ	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	吉田 滋樹	食品機能化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文はよび学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN132	食品機能化学講究II	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	吉田 滋樹	食品機能化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN133	食品機能化学講究III	1	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	吉田 滋樹	食品機能化学の分野における実験の進め方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。また、研究者に必須である研究倫理教育についても、研究の進行に合わせ適宜行う。	概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで
02AN125	機能性神経素子工学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	戸井 基道	機能性神経素子工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN126	機能性神経素子工学講究Ⅱ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	戸井 基道	機能性神経素子工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN127	機能性神経素子工学講究ⅡⅡ	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	戸井 基道	機能性神経素子工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原書論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須である研究倫理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN128	複合生物系利用工学講 究 I	2	1.0	1 - 3					複合生物系利用工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必然にある。 研究者に必然にある。 での進行に合わせ適宜行う。	2021年度開講せず。 連携学生に限る
02AN129	複合生物系利用工学講 究 I I	2	1.0	1 - 3					複合生物系利用工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必須での確理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	2021年度開講せず。 連携学生に限る
02AN130	複合生物系利用工学講 究III	2	1.0	1 - 3					複合生物系利用工学の分野における実験の進め 方、得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく 考察・討論の進め方、英語原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う。また、 研究者に必然の強理教育についても、研 究の進行に合わせ適宜行う。	2021年度開講せず。 連携学生に限る
02AN141	共生進化生物学講究I	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深津 武馬	自己の研究に関連する論文を多数購読させ、当該 分野の研究動向をとりまとめさせ、これを自己の 研究の位置づけと今後の展開に資するように指導 し、自立した研究者の養成に努める。また、研究 者に必須である研究倫理教育についても、研究の 進行に合わせ適宜行う。	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要

02AN142	共生進化生物学講究II	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深津 武馬	自己の研究に関連する論文を多数購読させ、当該 分野の研究動向をりまとめさせ、これを自己の 研究の位置づけと今後の展開に対するように指導 し、自立した研究者の養成に努める。また、研究 者に必須である研究倫理教育についても、研究の 進行に合わせ適宜行う。	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要
02AN143	共生進化生物学講究III	2	1.0	1 - 3	通年	応談	研究室	深津 武馬	自己の研究に関連する論文を多数購読させ、当該 分野の研究動向をとりまとめさせ、これを自己の 研究の位置づけと今後の展開に資するように指導 し、自立した研究者の養成に努める。また、研究 者に必須である研究倫理教育についても、研究の 進行に合わせ適宜行う。	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN134	食品分子認識工学講究Ⅰ	2	1.0	1 - 3	通年	応談		小堀 俊郎	食品分子認識工学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考 察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN135	食品分子認識工学講究 []	2	1.0	1 - 3	通年	応談		小堀 俊郎	食品分子認識工学の分野における実験の進め方, 得られた実験結果のまとめ方, 結果に基づく考 察・計論の進め方, 英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN136	食品分子認識工学講究 III	2	1.0	1 - 3	通年	応談		小堀 俊郎	食品分子認識工学の分野における実験の進め方, 得られた実験結果のまとめ方, 結果に基づく考 察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	連携学生に限る その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN137	糸状菌相互応答学講究Ⅰ	3	1.0	1 - 3	通年	応談		萩原 大祐,浦山俊一	糸状菌相互応答学の分野における実験の進め方、 得られた実験結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN138	糸状菌相互応答学講究 II	3	1.0	1 - 3	通年	応談		萩原 大祐,浦山俊一	糸状菌相互応答学の分野における実験の進め方, 得られた実験結果のまとめ方, 結果に基づく考 察・討論の進め方, 英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する
02AN139	糸状菌相互応答学講究 III	3	1.0	1 - 3	通年	応談		萩原 大祐,浦山俊一	糸状菌相互応答学の分野における実験の進め方, 得られた実験結果のまとあ方,結果に基づく考 察・討論の進め方,英語の原著論文および学位論 文の作成方法について具体的指導を行う.	その他の実施形態 概ね対面だが、ディス カッション等は、必要 に応じてオンラインで 実施する

グローバル・フード・セキュリティー恊働プログラム

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準履 修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AN401	グローバル・フード・ セキュリティーディ ベート演習	1	2. 0	1	秋ABC	木7.8		グローバルフード セキュリティ恊働 プログラム委員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、個々の研究課題との位置づけを認識することを自めとする。要所で個別の講義も盛り込む。食料保障は世界レベルで相互依存となっていることの理解を深め、世界のフードセキュリティーと持続性における国連のSBGs (Sustainable Development Goals)達成に関連づけ世界規模課題について、多様な方向性と施策を養論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水資源や土地等の生産と源の持続性について認知し、諸国で重要度生産の総済の持続性について認知し、諸国で重要性産の総済の持続性について認知し、諸国で重要性産の必要を重視様域の利用、産物の保蔵 past management)、大型に関連では、「PM」に対理なる。	
02AN402	グローバル・フード・ セキュリティーイン ターンシップ	3	1.0	1 • 2	通年	応談		グローバルフード	グローバル・フード・セキュリティーディベート 演習による基盤理解ののち、学生が個別に農業開 発について調査課題を起来設定し、筑波大学協定 校や海外事務所の支援に基づき、課題調査(海外 での調査を勧奨)を行い、報告会にて報告を行 う。	02AP005と同一。

食料保障と天然資源管理に貢献するトランスワールド実務人材養成プログラム

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準履 修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	----------	-----	------------	------	-----	----	------	------	----

02AN403	グローバル・ヒューマ ン・セキュリティー ディベート演習	2	2.0	1	秋ABC	木7,8	生農 G501	TPHRD運営委員教 員	個々の研究課題との位置付けを認識することを目的とする。食料保障が世界レベルで相互依存となっていることへの理解を深め、世界のフードセキュリティーと天然資源持続性について国連のSDGs (Sustainable Development Goals)達成に関連付け、多様な方向性と施策を世界規模で議論する。特に、対処課題として激変する環境変動や水	OBNM901と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 Face-to-face meetings in principle, but may be done online
02AN404	グローバル・ヒューマ ン・セキュリティーイ ンターンシップ	3	1.0	1 · 2	通年	応談		TPHRD運営委員教 員	グローバル・ヒューマン・セキュリティーディベート演習を通して得た理解を基盤として、トランスワールド実務人材養成プログラムの主題である食料保障と天然資源管理への貢献について、個々の学生が調査課題を起来設定し、課題調学を行い、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学の海外事務所の支援に基づき、海外での調査を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の海外派遣資金による支援を行う。(通年1年春学期ABC-2年秋学期ABC):10月入学のため	ディベート演習の単位 取得後、履修すること。 02AL404, 02AM405, 02AP007, 02AS511, 0BMM902と同一。 英語で授業。